

せいり ばんごう 整理番号	3-1-4	そうだん 相談レベル	3
ぶん るい 分類	どうにゆうへん 導入編		
こう もく 項目	ちいき まち 地域で守るべきルール		
ない よう 内容	ちよちく 貯蓄のすすめ		

1 想定される質問の背景

- 本国の家族への送金を優先し、手元にお金をあまり残していない。
- 貯蓄する習慣がなく、困ったときにはどうにかなると考えている。

2 基本的な質問と回答

相談者 日本人はたくさん貯蓄していると聞きましたが本当ですか？

回答者 総務省の調査では、2004年の1世帯あたりの貯蓄額は1,692万円、負債額が524万円となっています。

相談者 なぜ、そんなに貯蓄しているのですか？

回答者 住宅確保、子育て、老後、病気など、さまざまな将来の費用を準備するために、計画的に貯蓄している人が多いと思います。

相談者 困ったときには、行政が助けてくれるのではないのですか？

回答者 さまざまな行政制度があり、困ったときには助けてもらえる場合もありますが、まずは、自分自身で困らないように準備するのが当然です。

相談者 日本で銀行に預けても利子がほとんどつかないのに貯蓄する意味があるのですか？

回答者 貯蓄方法には、預貯金だけではなく、生命保険、積立型損害保険、株式、債券、投資信託など、さまざまな金融商品があります。預貯金にも外貨建預貯金もあります。リスクの高い商品はリターンも高いです。こうした中から、銀行などと相談して、自分に合ったものを探して、貯蓄することをお勧めします。

3 派生する質問と回答

相談者 日本に永住するつもりはありません。病気になったり年をとったら、本国に帰ります。稼いだお金はほとんど本国の家族に送金しています。だから貯金の必要を感じません。

回答者 重い病気になって入院し手術する場合は国民健康保険などに入っている場合でも、一度に多額のお金が必要になります。また、賃貸住宅を転居する場合、新居の敷金、礼金、家賃などで約6ヶ月分の家賃が必要になります。日本での生活では、ある程度の貯蓄は不可欠です。

メモ欄
